HIMAWARI Women & Men Information
女と男の情報紙

ひまわり

Vol.42
2026.9.1

特集

男女共同参画社会の実現に向けて
荻野吟子と男女共同参画



布絵「ひまわり」　岩切喜美枝さん（熊谷市万吉）の作品

荻野吟子の志を未来へ　第47回フォーラムくまがや2026のお知らせ



高尾 美穂 氏

産婦人科専門医・医学博士・婦人科スポーツドクター。
女性のための統合ヘルスクリニック「イーク表参道」副院長。
働く女性の産業医として内閣府男女共同参画局・人事局などで職員研修を担当。
長年ヨガを愛好し、多くのヨガインストラクターを指導。
YouTube「高尾美穂からのリアルボイス」では、女性のお悩みに答え、楽に生きられる考え方を配信している。

●講演　高尾（たかお） 美穂（みほ） 氏
（産婦人科専門医・医学博士・婦人科スポーツドクター）
私らしく生きるための心とカラダの作り方

●オープニングステージ
原田（はらだ） 勇雅（ゆうや） 氏・熊谷少年少女合唱団
（声楽家・音楽博士・くまがや文化芸術応援大使・オペラ荻野吟子総合プロデューサー）

●第21回熊谷市男女共同参画推進表彰

12月12日（土）午後1時30分から（入場無料）
熊谷市立文化センター文化会館
（熊谷市桜木町二丁目33番地2）
※ 手話通訳あり　※ 託児あり（2歳以上の未就学児・要予約）
※ 未就学児の入場は不可



原田 勇雅 氏

東京藝術大学大学院修了、博士号取得。国内外で5つのコンクールに優勝等受賞多数。皇室御前演奏やプロ野球開幕戦国歌独唱等でも活躍するほか、熊谷オペラ、12の合唱団を指導するなど、地域文化振興を牽引している。

【入場申込み・問い合わせ】
熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」
下記のいずれかの方法でお申し込みください。
①申込みフォーム：右記コードから
②電話：048-599-0011
※申込者が500人（定員）になり次第、締め切ります。

電子申請・届出サービス

共催：熊谷市・くまがや共同参画を進める会

「吟子汁を知ってますか？」



日本初の公認女性医師・荻野吟子にちなんで作られた、郷土料理が吟子汁です。熊谷市（旧・妻沼町）出身で、後に北海道へ渡って開業したことに由来し、熊谷市（旧・妻沼町）と北海道のせたな町の特産品を組み合わせて作られています。今年3月には、荻野吟子連携PRキャラバンを開催。市内の百貨店にて「吟子汁」の無料配布が行なわれました。市内小中学校の「ふるさと給食の日の献立」に吟子汁が採用されることもあります。また、熊谷市以外の県内の小学校の給食献立にも登場しています。

荻野吟子ゆかりの食材で作る郷土の味

材料（4人分）
生鮭　2切　160g
じゃがいも　中2個　150g
大和芋　中1本　150g
にんじん　中1本　100g
ほうれん草　3分の1束　100g
ごぼう　小1本　100g
ねぎ　1本
味噌　約50g
だし汁　約6カップ
油　小さじ1から2

⬆詳しい作り方はこちら

「ひまわり」編集員公募のお知らせ

本紙「女（ひと）と男（ひと）の情報紙ひまわり」の編集員を募集します。

募集人員　2人
応募資格　市内在住の18歳以上の方で、男女共同参画に関心があり、左記の活動ができる方
活動内容　①編集員会議（毎号3回程度・平日2時間程度）②取材活動（随時）③原稿の作成
委嘱期間　2年間
応募方法　応募動機と男女共同参画の推進に向けた考えを、800字程度にまとめ、住所・氏名・生年月日・職業・電話番号を明記し、9月30日（水）までに熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」へ持参もしくは郵送（必着）してください。

◆◆◆募集◆◆◆

★表紙やカットとして掲載する「ひまわり」の絵・写真・その他の作品を募集します。
★「輝いてます！」（市内で活躍されている方の紹介）のコーナーに登場してくださる方を募集しています（自薦・他薦は、問いません）。
※両募集とも、応募多数等により掲載にならない場合がありますが、ご了承ください。
★本紙へのご意見、ご感想をお寄せください。

【応募・問い合わせ】
〒360-0037
熊谷市筑波二丁目202番地 ティアラ21（4階）
熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」
・TEL　048（599）0011
・FAX　048（599）0012

ひとりで悩んでいるあなた、一度相談してみませんか？

配偶者や恋人など親密な関係にある人からの暴力（DV）に悩んでいる方、自分が我慢すればと思わずに、相談してください。どんな小さなことでも、相談員がお聴きし、一緒に考えます。電話相談は匿名でもお受けしていますので、まずはお電話ください。

詳しくはこちら

◆ハートピア相談室　☎048-599-0015

相談名	相談日	時間
電話相談・面接相談（予約不要）	月～金曜日、第1・第3土曜日（祝日、年末年始を除く）	9:00～17:15
弁護士による相談（要予約）	隔月1回（偶数月）	10:00～11:30
公認心理師による相談（要予約）	毎月1回	9:00～16:00
保健師による相談（要予約）	月～金曜日（祝日、年末年始を除く）	9:00～15:00

（各相談とも、無料・秘密厳守）

編集後記

埼玉三偉人の一人荻野吟子。並々ならぬ苦労や努力の末、医師となった吟子は、性別による差別や不当な扱いに異議を唱え、社会の固定概念や制度に立ち向かっていった勇気ある人でもありました。今ある自由や平等は当たり前のものではなく、私たちも努力して守っていかなくてはならないものだと痛感します。熊谷市の男女共同参画の歩みも止めてはならないと、郷土の偉人が後押ししてくれている気がします。

今号の編集にあたり、荻野吟子の記述については、熊谷市教育委員会市史編さん室にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

〈編集員〉
秋元留美子　井上紀子　坂東輝美　菊地博彰　吉田知重子

キリトリ

悩んでいるあなたに

なんとなく不安を感じてしまう人
「こんなことで悩んでいるのは私だけ」と思っていること
一人で抱え込まず、ぜひご相談ください。

電話相談・面接相談（無料）
月～金曜日、第1・第3土曜日
（祝日、年末年始を除く）9:00～17:15

DV相談　☎048-599-0015
熊谷市男女共同参画推進センター ハートピア

その他相談窓口

コピーキリトリ

DV相談の窓口案内です。切り取って悩んでいる誰かに渡してください。

■発行日　令和8年9月1日（年2回発行）　■発行　熊谷市
■編集　男女共同参画室（ハートピア内）・「ひまわり」編集員会
「ひまわり」Vol.42は、70,500部作成し、印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり7円です。

令和8年度　熊谷市荻野吟子知名度向上プロジェクト

①荻野吟子知名度向上事業
吟子ゆかりの自治体や団体との連携を推進、「パネル展」、「シンポジウム（3月開催予定）」などを開催

②荻野吟子物語」マンガ制作事業
生涯を綴ったマンガ形式のブックレットを作成

③市民協働「熊谷の力」荻野吟子顕彰事業
荻野吟子の生涯を描いた演劇を市民参加型で上演　『荻野吟子抄』11月23日（月・祝）

市民協働「熊谷の力」荻野吟子顕彰事業

荻野吟子抄（おぎのぎんこ）

命をかけた女性の物語
女医のパイオニアは熊谷出身

出演　劇団シナトラ ＆ 市民有志



2026年11月23日（祝）
開場/13:30　開演/14:00

熊谷文化創造館さくらめいと
太陽のホール
全席自由500円

［主催］
くまがや共同参画を進める会
［後援］
熊谷市 熊谷市教育委員会 熊谷市市議会
（一社）熊谷市観光協会 熊谷商工会議所
くまがや市商工会 熊谷市商店街連合会
（一社）熊谷市医師会（公社）日本女医会 埼玉県支部
（一社）熊谷市歯科医師会（一社）熊谷薬剤師会

●チケット販売開始　9月1日（火）～

●チケット取扱店
熊谷駅観光案内所・熊谷市市民活動支援センター
さわた本店・大福茶屋さわた

☎ 048-599-0011　問合せ受付時間 月曜日～金曜日 10:00～16:00

キリトリ

熊谷市以外でも
チャットで気軽に相談できます

DV相談プラス（内閣府）

たまチャ（埼玉県DVチャット）

一人で抱え込まず、一緒に解決を目指しましょう

キリトリ

DV相談の窓口案内です。切り取って悩んでいる誰かに渡してください。



荻野吟子と男女共同参画



荻野吟子〔1851年（嘉永４）から1913年（大正２）〕は、埼玉県熊谷市生まれの日本初の公認女性医師です。

若い頃に、婦人科系の病気にかかり、男性医師からの診察に強い苦痛を感じた経験から「女性が安心して診てもらえる医師になりたい」と決意しました。

当時は女性が医学を学び、医師になることは非常に困難でしたが、努力を重ね、1885年（明治18）医術開業試験に合格、日本で初めて正式に許可された女性医師になりました。

さらに吟子の功績は、医師として活躍するだけでなく、女性の地位向上や社会参加の実現にも力を尽くし、男女共同参画の先駆者ともいえる活動を行ったことです。

吟子の主な社会活動

① 大日本婦人衛生会の設立に参画

大日本婦人衛生会は1887年（明治20）に設立された女性団体。女性や家庭の健康、衛生知識の普及を目的として活動した団体。当時は感染症や乳児死亡率が高く、衛生に関する知識が十分でなく、女性自身が正しい知識を身につけ、家庭や地域の健康を支えることを目指しました。

吟子は女性医師として、家庭衛生の重要性を広めるとともに、女性が社会の一員として主体的な役割を担うことを提唱しました。

② 東京婦人矯風会（きょうふうかい）で活動

東京婦人矯風会は1886年（明治19）に設立された女性や子どもの人格を守り、よりよい社会を目指して活動していた団体です。

吟子は、この団体の副会頭や風俗部長を務め公娼制度廃止運動の中心となって活動しました。

③ 婦人傍聴禁止撤回運動

衆議院で女性の傍聴を認めるよう運動し、各界の女性21人の一人として陳情し、撤回を実現しました。

④ 濃尾（のうび）地震での孤児となった少女たちの救済活動

1891年（明治24）10月28日　岐阜県・愛知県を中心に起きた大地震で孤児となった少女たちの保護・救済活動に尽力しました。荻野医院を収容場所として提供し自ら治療や乳幼児の世話にもあたりました。

このように、荻野吟子は女性が教育や職業を自由に選ぶことが難しかった時代に、自ら道を切り拓き、女性の社会参加や人権の向上に実践を通して貢献しました。

現在の男女共同参画社会の実現につながるその歩みは、「誰もが自分らしく生きられる社会」を目指す私たちに、多くの示唆を与えてくれます。

熊谷市男女共同参画室では、荻野吟子を「困難を乗り越え、自ら人生を切り拓いた先駆者」としてシンボルに位置付け、その志を未来へつなげていきます。私たちは、その志を受け継ぎ、互いの人権を尊重し、一人ひとりが自分らしく活躍できる社会を目指していきます。